

平成 20 年 10 月 9 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号
株式会社 バックスグループ
代表取締役社長 岡田 努
(コード番号:4306)
(連絡先)取締役経営管理本部長 砂長 淳洋
電 話 03-5793-7836

特別損失の発生及び特別利益の発生並びに平成 21 年3月期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失、特別利益が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年3月期第2四半期累計期間(平成 20 年4月 1 日～平成 20 年9月 30 日)及び通期(平成 20 年4月1日～平成 21 年3月 31 日)の連結・個別業績予想を修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及び内容

(1) 投資有価証券評価損の計上について

当社が保有する非上場株式等について、平成 21 年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)において投資有価証券評価損を計上する必要が生じました。

(連結)

| | | |
|-----------------------------------|--------------|-------|
| (A) 平成 21 年3月期第2四半期の投資有価証券評価損の概算 | 42,470 千円 | |
| (B) 平成 20 年3月期の純資産の額 (A/B×100) | 1,655,416 千円 | 2.6% |
| (C) 経常利益額 (最近5事業年度の平均) (A/C×100) | 408,387 千円 | 10.4% |
| (D) 当期純利益額 (最近5事業年度の平均) (A/D×100) | 230,933 千円 | 18.4% |

(個別)

| | | |
|-----------------------------------|--------------|-------|
| (A) 平成 21 年3月期第2四半期の投資有価証券評価損の概算 | 42,470 千円 | |
| (B) 平成 20 年3月期の純資産の額 (A/B×100) | 1,360,028 千円 | 3.1% |
| (C) 経常利益額 (最近5事業年度の平均) (A/C×100) | 317,293 千円 | 13.4% |
| (D) 当期純利益額 (最近5事業年度の平均) (A/D×100) | 181,069 千円 | 23.5% |

(2) 固定資産の減損損失の計上について

本日、別途公表いたしました「子会社の事業譲渡に関するお知らせ」とおり、平成 20 年 10 月 10 日付で、当社連結子会社である株式会社エンタテインメントコモンズが運営する求人・求職サイト事業を、株式会社サイブリッジに譲渡することに伴い、固定資産(ソフトウェア)24,505 千円及び営業権 2,104 千円に対する減損損失が連結で 26,610 千円発生する見込みであります。

2. 特別利益の計上とその内容

当社は、平成 20 年8月 22 日に「子会社との吸収合併に関するお知らせ」で開示のとおり、平成 20 年 10 月 1 日をもって、当社の完全子会社である株式会社ギガジャパン及び株式会社スマートを吸収合併いたしました。この合併の会計処理について企業結合に係る会計基準が適用されることに伴い、当社の個別決算において被合併会社である株式会社ギガジャパ

ン及び株式会社スマートからから受け入れた純資産と当社が所有する同社株式(抱合わせ株式)の帳簿価額との差額を特別利益の「抱合わせ株式消滅差益」として計上いたします。

- (1) 特別利益の金額 335,161 千円
 (2) 発生日 平成 20 年 10 月 1 日(合併効力発生日)

3. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-----------------------|-------|-------|-------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 6,700 | 170 | 170 | 98 |
| 今回修正予想 (B) | 6,422 | 136 | 136 | 13 |
| 増減額 (B - A) | △277 | △33 | △33 | △84 |
| 増減率 (%) | △4.1 | △19.6 | △19.9 | △86.4 |
| (ご参考) | | | | |
| 前期実績(平成 20 年 3 月期中間期) | 5,539 | 168 | 165 | 92 |

| | 1 株当たり四半期純利益 |
|-----------------------|--------------|
| 前回発表予想 (A) | 731 円 49 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 99 円 62 銭 |
| 増減額 (B - A) | — |
| 増減率 (%) | — |
| (ご参考) | |
| 前期実績(平成 20 年 3 月期中間期) | 671 円 46 銭 |

(2) 平成 21 年 3 月期通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------|--------|------|------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 14,040 | 500 | 500 | 290 |
| 今回修正予想 (B) | 13,762 | 479 | 479 | 215 |
| 増減額 (B - A) | △278 | △21 | △21 | △75 |
| 増減率 (%) | △2.0 | △4.2 | △4.2 | △25.9 |
| (ご参考) | | | | |
| 前期実績(平成 20 年 3 月期) | 11,775 | 404 | 401 | 210 |

| | 1 株当たり当期純利益 |
|--------------------|--------------|
| 前回発表予想 (A) | 2,164 円 60 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 1,604 円 79 銭 |
| 増減額 (B - A) | — |
| 増減率 (%) | — |
| (ご参考) | |
| 前期実績(平成 20 年 3 月期) | 1,550 円 26 銭 |

4. 平成 21 年 3 月期 個別業績予想の修正等

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-----------------------|-------|------|------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 5,410 | 130 | 130 | 75 |
| 今回修正予想 (B) | 5,347 | 163 | 163 | 65 |
| 増減額 (B - A) | △62 | 33 | 33 | △9 |
| 増減率 (%) | △1.2 | 25.9 | 25.5 | △12.2 |
| (ご参考) | | | | |
| 前期実績(平成 20 年 3 月期中間期) | 4,519 | 129 | 126 | 71 |

| | |
|-------------------|-----------------|
| | 1株当たり四半期 純利益 |
| 前回発表予想 (A) | 559円81銭 |
| 今回修正予想 (B) | 491円43銭 |
| 増減額 (B - A) | — |
| 増減率 (%) | — |
| (ご参考) | |
| 前期実績(平成20年3月期中間期) | 518円65銭 |

(2) 平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|--------|------|------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 11,160 | 400 | 400 | 230 |
| 今回修正予想 (B) | 12,351 | 500 | 500 | 454 |
| 増減額 (B - A) | 1,191 | 100 | 100 | 224 |
| 増減率 (%) | 10.7 | 25.0 | 25.0 | 97.4 |
| (ご参考) | | | | |
| 前期実績(平成20年3月期) | 9,764 | 386 | 383 | 217 |

| | |
|----------------|----------------|
| | 1株当たり当期 純利益 |
| 前回発表予想 (A) | 1,716円75銭 |
| 今回修正予想 (B) | 3,388円72銭 |
| 増減額 (B - A) | — |
| 増減率 (%) | — |
| (ご参考) | |
| 前期実績(平成20年3月期) | 1,602円04銭 |

5. 平成21年3月期 連結業績予想の修正理由

平成21年3月期第2四半期累計期間において、株式会社ギガジャパンと株式会社スマートの子会社2社の売上高が期初計画を下回った結果、営業利益及び経常利益も期初計画を大幅に下回る結果となりました。また、「1. 特別損失の発生及び内容」に記載いたしましたとおり、投資有価証券評価損及び固定資産減損損失を特別損失に計上することにより、当期純利益が期初の予想より減少するため、業績予想の修正をいたします。

また、平成21年3月期通期業績予想につきましては、上述の修正に加えて「1. 特別損失の発生及び内容(2)固定資産の減損損失の計上について」に記載いたしました固定資産の売却により、販売管理費の削減が見込まれることから、営業利益、経常利益について差異の修正をいたします。

6. 平成21年3月期 個別業績予想の修正理由

平成21年3月期第2四半期累計期間において、売上高はデジタル分野や新規事業分野における需要の増加により、概ね期初計画どおりに推移しました。また、業務効率化等の販売管理費の節減に努めた結果、営業利益と経常利益が期初予想を大幅に上回ることが見込みとなりました。一方で、「1. 特別損失の発生及び内容 (1)投資有価証券評価損の計上について」に記載いたしましたとおり、投資有価証券評価損を特別損失に計上することにより、当期純利益が期初の予想より減少するため、業績予想の修正をいたします。

また、平成21年3月期通期業績予想につきましては、上述の理由に加えて、「2. 特別利益の計上とその内容」に記載いたしました理由により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正いたします。

(注)本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後、実際の業績は様々な要因によって予想数値を異なる可能性があります。

以上